



平成 26 年 10 月 30 日

各 位

会社名 三菱電機株式会社  
 代表者名 執行役社長 柵山 正樹  
 (コード番号 6503 東証第一部)  
 問合せ先 広報部長 船尾 英司  
 (TEL 03-3218-2332)

## 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 7 月 30 日に公表した平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、同日公表した平成 27 年 3 月期通期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)連結業績予想値を修正しましたので、お知らせいたします。

記

平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想値と実績値との差異(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)  
 (金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前 四半期純利益	当社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,980,000	100,000	110,000	80,000	37円26銭
実績値(B)	1,972,838	121,391	145,926	97,854	45円58銭
増減額(B-A)	△7,162	21,391	35,926	17,854	
増減率(%)	△0.4%	21.4%	32.7%	22.3%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,811,899	79,730	83,420	48,344	22円52銭

### <差異の生じた理由>

当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高は、大口案件の繰り下がりなどにより、前回予想値を下回りましたが、利益は、国内・海外向け空調機器が好調な家庭電器部門、スマートフォン関連及び自動車関連の設備投資需要が堅調に推移した産業メカトロニクス部門などが伸長し、営業利益が増加したことに加え、第2四半期末にかけての円安の進行による為替差益の改善もあり、税引前四半期純利益、当社株主に帰属する四半期純利益も、前回予想値を上回りました。

平成 27 年 3 月期通期 連結業績予想値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	4,220,000	260,000	260,000	175,000	81円51銭
今回発表予想(B)	4,220,000	275,000	285,000	190,000	88円50銭
増減額(B-A)	—	15,000	25,000	15,000	
増減率(%)	—	5.8%	9.6%	8.6%	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	4,054,359	235,172	248,990	153,473	71円49銭

### <修正の理由>

通期の連結業績見通しは、産業メカトロニクス部門、家庭電器部門を中心に営業利益の増加が見込まれることから、平成 26 年 7 月 30 日に公表した業績予想値を修正いたします。

以上

※上記の業績見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご留意ください。